

平成 17 年度 秋期 アプリケーションエンジニア 午後 解答例

この解答例は、独立行政法人 情報処理推進機構 情報処理技術者試験センターが公表しているものです。著作権は、同センターにありますので、その点ご注意ください。

問 1

- 設問 1 標準指標値から外れている業務名 受注出荷  
標準指標値から外れた原因 現場責任者が参加したので、レビューに時間を要した。  
標準指標値から外れている業務名 会計  
標準指標値から外れた原因 新規開発規模ではなく、想定規模で管理項目を算出している。  
( と は順不同 )

設問 2

(1)

担当者名	プログラム名	規模 ( ks )	予定	
			開始日	完了日
Z 君	pg03	1.0	8	10
Y 君	pg04	0.8	9	10
X 君	pg05	0.4	8	9

(2) 担当者ごとのスキルに違いがあること

- 設問 3 問題がある業務名 発注仕入  
問題点 バグ抽出が不十分であり、バグが残っている。  
問題がある業務名 会計  
問題点 バグ未対応件数が多く、品質が低い。  
( と は順不同 )

\*

問 2

設問 1

- (1) 機能 並行承認  
承認者 国際課長，経理課長  
(2) - 8.5 - 5.5 - 3.5

設問 2 承認済項目を修正しても、その項目の承認が必要な承認者に案件が回付されない。

設問 3

- (1) 郵送済の領収書がどの出張精算案件に該当するか分からなくなる。  
(2) システム管理者が人事異動によって回付ルートが変更となる未承認案件を差し戻す。

\*



(2)

- ・販売単価の確定を売上計上時にできるようにする。
- ・在庫管理で寸法別の管理もできるようにする。
- ・手形管理の機能を追加する。
- ・寸法入力による重量や価格の自動計算機能を追加する。

設問 4

経営面からの理由 全社の経営状況の把握や環境変化への対応を早期に実現することを最優先とするから

システム面からの理由 既存システムとの連携開発での開発コストやテスト作業時間を省けるから

注：この解答例に関するメールでのご質問には、応じかねます。あしからずご了承ください。